

第3期中心市街地活性化基本計画主要事業概要

中活計画すべての事業で大切にすること

(将来ビジョン・まちづくりの方針を実現するための共通項)

1 人中心のまちなか

歩いてたのしい、居心地が良い、訪れやすい等、人の尺度を基準として人が安心・快適に感じられる空間の規模やものの大きさ（ヒューマンスケール）を重視



銀座通り・人中心の
歩行者空間創出社会実験



鶴岡公園二の丸広場



鶴岡公園堀周辺道路



あつみ温泉あんべ湯



2 鶴岡らしい都市景観

移動しながら四方の山容が見え隠れするとともに、歴史・文化が感じられ、近景遠景ともに美しいまちなか



山当て景観や歴史・文化が息づく
内川沿い・中心市街地

3 公民共創のまちづくり

市民、事業者の活動や投資を支える仕組みづくり

- ① 民間の創意工夫を最大限発揮していただけるよう、**支援制度等の自由度を高めます**
- ② TMO等と連携して、民間ニーズに対応した**スピード感のある体制を構築します**
- ③ 多様な活動、イベントの場として選ばれるよう、**需要に応える柔軟な運用を行います**

将来ビジョン・まちづくりの方針を実現するための共通項

1 人中心のまちなか 2 鶴岡らしい都市景観 3 公民共創のまちづくり

賑わい

まちなかを「若者がビジネスチャンスを感じる」場に、
➢ リノベーションによる物件再生
※150ha全域が対象

居住

「若者・子育て世帯に選ばれる」住みたい場に、
➢ 道路拡幅を伴う小規模な宅地開発への補助
➢ 新築等のインセンティブになる補助
※150ha全域が対象

賑わい×居場所×観光

南北・東西の活性化の軸に、
➢ 銀座通り、三日町口通り・みゆき通り歩行者空間整備

観光×賑わい

- 中心市街地観光周遊促進
- インバウンド観光促進
- 観光資源・コンテンツ磨き上げ

★ 観光の主要施設・歴史的建造物

移動

- 市内循環バスの利用促進活動
- バス停の改修

居場所×賑わい

市民の活動拠点に、
➢ 鶴岡Dada、Dada広場、エビスヤビル等の改修

賑わい×居場所

➢ 広場を活用したイベントの仕組づくり
※150ha全域が対象



目標とする将来の姿・方針一覧・重点テーマ

賑わい

「おいしい」「たのしい」ができるまち

【まちづくりの方針】

まちなかに、食文化創造都市ならではの多彩な催しと、“ひと中心”の魅力あふれる通り・広場・店舗を生み出します。

重点テーマ1

- ①：まちなかを「若者がビジネスチャンスを感じる」場に、リノベーションによる物件再生
- ②：南北・東西の活性化の軸に、銀座通り、三田町口通り・みゆき通り歩行者空間整備
広場を活用したイベントの仕組みづくり

居場所

私のお気に入りの場所を見つけることができるまち

【まちづくりの方針】

まちなかに、多様な目的で滞在でき、学び・探求・創造性と交流を育む市民の拠点を生み出します。

重点テーマ2：市民の活動拠点に

鶴岡Dada、Dada広場等の改修、広場を活用したイベントの仕組みづくり

観光

城下の歴史や食を巡る「まち歩き」ができるまち

【まちづくりの方針】

まちなかに、酒井家庄内入部からの重層的な地域資源等を活用して一日中楽しめる観光エリアを生み出します。

重点テーマ3：中心市街地の周遊を促す仕掛けづくりに優先して取り組む

居住

広い空の下で安心・快適に暮らすことができるまち

【まちづくりの方針】

まちなかに、良好な景観を維持し、災害に強く、多様なライフスタイルやライフステージに応じた「こどもまんなか」と脱炭素の居住環境を生み出します。

重点テーマ4：「若者・子育て世帯に選ばれる」住みたい場に

道路拡幅を伴う小規模な宅地開発への支援、新築等のインセンティブになる支援

移動

気軽におでかけできるまち

【まちづくりの方針】

まちなかに、安全快適な歩行者・自転車空間や、便利な公共交通等によるアクセス環境を生み出します。

重点テーマ5：公共交通の利用促進活動や環境改善に優先して取り組む

事業一覧（全36事業）

分野	番号	事業名
賑わい	1	公民共創のまちづくり推進事業★
	2	中心市街地交通規制対策事業★
	3	チャレンジショップ事業★
	4	イベント等支援事業★
	5	商店・商店街レベルアップ事業★
	6	空き店舗解消リフォーム補助金事業★
	7	新規創業促進助成金事業★
	8	都市計画道路鶴岡駅錦町線歩行者空間整備事業★
	9	マリカ広場再整備事業
	10	銀座通り街路整備事業★
	11	三日町口通り・みゆき通り街路整備事業★
	12	中心市街地賑わい創出支援事業★
	13	まちなか賑わい創出事業★
	14	鶴岡駅前公共自転車駐車場再整備事業

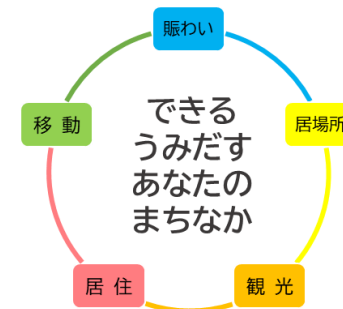
分野	番号	事業名
居場所	15	マリカ東館再整備事業
	16	鶴岡まちづくりブランディング事業★

観光	17	鶴岡DMO事業★ (DEGAM)
	18	観光案内所運営事業★
	19	まつり振興事業★
	20	城下町探訪&グルメウォーク事業★
	21	観光レンタサイクル事業★
	22	インバウンド観光促進事業★
	23	景観まちづくり事業
	24	歴史的建造物活用支援事業
	25	中心市街地観光周遊促進事業★
	26	観光資源・コンテンツ磨きあげ事業★

分野	番号	事業名
居住	27	小規模連鎖型区画再編事業★
	28	空き家バンク事業★
	29	中心市街地居住促進事業★
	30	鶴岡市住宅リフォーム支援事業★
	31	高度地区等規制検証事業
	32	まちなか居住環境整備促進事業★
	33	再生可能エネルギー設備導入支援事業★

移動	34	モビリティ・マネジメント事業★
	35	公共駐車場適正管理事業
	36	バス停留所高質化事業

★印は令和7年度実施予定事業



重点テーマ1－①：まちなかを「若者がビジネスチャンスを感じる」場に、リノベーションによる物件再生

中活計画主要事業

実施 主体	新規 継続	事業名 ■…ハード事業 ●…ソフト事業	事業概要	令和7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
市/ 会議 所	新規	●公民共創の まちづくり 推進事業	エリアマネジメント手 法による小さな活性化 拠点の創出	①個別物件やエリア に沿った利活用モデ ル・リノベーション 手法の検討、テナン トや専門家とのマッ チング ②DIYワークショップ の開催や動画による 情報発信 ③新たな融資制度の 検討	①リノベーションに よる中心市街地活性 化事業の実施。 ②新たなプレイヤー の参入、エリア活性 化に向けた手法の検 討 ③融資制度の検討	①エリアマネ ジメント手法 の導入・体制 整備 ②活性化拠点 の創出・拡大 ③融資制度の 実施		

主な事業

新規 継続	ハード ソフト	名称・内容
継続	ソフト	○鶴岡TMO公民共創のまちづくり推進事業費補助金 〈内容〉鶴岡TMOに補助金を交付し、遊休物件を活用したリノベーションによる中心市街地活性化を推進。
継続	ソフト	○空き店舗解消リフォーム事業補助金 〈内容〉遊休物件を活用して新規出店・立地するために要する改修費を補助する。中心市街地内は補助金額を嵩上げ（50万円⇒ 100万円 ）。
継続	ソフト	○新規創業促進助成金 〈内容〉新規創業者の開業を支援するため、開業に要する費用を助成する。



遊休物件のリフォームやリノベーションによる新規出店・立地を促進し、空き店舗の解消を図り、まちの魅力を高める。
【公民共創のまちづくり・空き店舗解消リフォームでオープンした店舗】 5

重点テーマ1-①：まちなかを「若者がビジネスチャンスを感じる」場に、リノベーションによる物件再生

名称・内容	R7実績	R8計画
○鶴岡TMO公民共創のまちづくり推進事業費補助金 ＜内容＞鶴岡TMOに補助金を交付し、遊休物件を活用したリノベーションによる中心市街地活性化を推進。	公民共創のまちづくり推進事業（リノベーションによる中心市街地活性化事業）による<u>遊休物件活用に向けた伴走支援を実施</u>。 ・4名採択（事業応募者7名） ・エリアビジネスミーティングの開催（全7回） うち3名は物件の一部を開店済み。	①リノベーションによる中心市街地活性化事業の実施。 ②新たなプレイヤーの参入、エリア活性化に向けたエリアマネジメント手法の検討 ③新たな融資制度の検討
○空き店舗解消リフォーム事業補助金 ＜内容＞遊休物件を活用して新規出店・立地するために要する改修費を補助する。中心市街地内はR7より補助金額を嵩上げ（50万円⇒<u>100万円</u>）。	補助金交付実績 ・新規出店者 8件 計4,533千円 - うち中心市街地 5件 計3,033千円	引き続き、<u>遊休物件を活用して新規出店・立地する事業者を支援する</u>。 事業活用者にヒアリングを行い、活用実態の把握やより使いやすい制度への見直し等の検討を行う。
○新規創業等支援補助金 ＜内容＞新規創業者の開業を支援するため、開業に要する費用を助成する。	補助金交付実績 ・新規創業者30者支援 （個人24者、法人6者 計9,268千円） うち中心市街地内7者支援 （個人6者、合同会社1者 計2,455千円）	①引き続き、新規創業者・県外移住された個人事業主、事業承継者に支援を行い、<u>まちなかでの開業を促進する</u>。 ②公民共創のまちづくり事業のプレイヤー等のまちなかでの新たな取組を行う事業者への支援を検討する。

目標指標	基準値(R5)	参考値(R6) 現状値(R7)	推計値(R11)	目標値(R11)
新規出店・立地数	10店舗/年	(R6)10店舗/年 (R7)11店舗/年	10店舗/年 (累計50件)	11店舗/年 (累計55件)
自転車歩行者通行量	2,853人/日	(R6)2,331人/日 (R7)1,820人/日	2,863人/日	3,099人/日

重点テーマ1-②：南北・東西の活性化の軸に、銀座通り、三日町口通り・みゆき通り歩行者空間整備
広場を活用したイベントの仕組みづくり

中活計画主要事業

実施主体	新規 継続	事業名 ■…ハード事業 ●…ソフト事業	事業概要	令和7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
市	新規	■銀座通り街路整備事業	銀座通りの歩行者空間拡幅	①アーケード調査 ②沿道地権者等との調整	「街路整備の方針」とりまとめ	街路設計	街路整備工事	街路整備工事【完了】
市	新規	■三日町口通り・みゆき通り街路整備事業	三日町口通り・みゆき通りの歩行者空間拡幅	①シミュレーション（交通解析） ②沿道地権者等との調整	「街路整備の方針」とりまとめ	街路設計	街路整備工事【完了】	
市	継続	●まちなか賑わい創出事業	広場活用イベントの仕組みづくり	①広場貸出機能強化 ②イベントの誘致、広場の情報発信、イベント実施の支援	→	①各広場を一括管理する仕組みの構築 ②イベントの定着化・自走支援、広場の情報発信	→	

主な事業

新規 継続	ハード ソフト	名称・内容
継続	ソフト	○中心市街地交通解析業務委託 〈内容〉銀座通り、三日町口通り、みゆき通り街路整備事業に係る「街路整備の方針」作成のための交通解析調査、イメージパース作成を行う。
		○中心市街地街路社会実験支援業務委託 〈内容〉銀座通りで車道の一部に滞在・歩行者空間を設ける「パークレット」社会実験を一定期間連続して行う。
継続	ソフト	○まちなか広場賑わい創出支援事業補助金 〈内容〉イベント誘致に取り組む団体に補助金を交付し、中心市街地の広場を活用したイベント開催を促進する。



アーケード下の公共空間を活用し、日常使いの可能性を探る。【銀座通り「パークレット」社会実験の様子】

重点テーマ1-②：南北・東西の活性化の軸に、銀座通り、三日町口通り・みゆき通り歩行者空間整備
広場を活用したイベントの仕組みづくり

名称・内容	R7実績	R8計画
○中心市街地交通解析業務委託 〈内容〉銀座通り、三日町口通り、みゆき通り街路整備事業に係る「街路整備の方針」作成のための交通解析調査、イメージパース作成を行う。	通行量調査結果等を活用して銀座通り、三日町口通り・みゆき通りを1車線化した場合の周辺道路への影響についてシミュレーションを実施	シミュレーションでは1車線化による渋滞発生等は生じないことを確認。 先ずは、一日市通りの対面通行化を推進しながら、 <u>人中心のまちなかに資する街路整備の検討</u> を行う。
○中心市街地街路社会実験支援業務委託 〈内容〉銀座通りで車道の一部に滞在・歩行者空間を設ける「パークレット」社会実験を一定期間連続して行う。	街路整備検討に向けた「日常使いにおける空間活用」の実証実験として「パークレット社会実験」を実施 期間：令和7年10月9日～19日 計11日間 アーケード下の公共空間に人工芝・イス・テーブル等を配置、車道を1車線化して仮設歩道・停車帯を設置、アンケート・通行量調査を実施	「街路整備の方針」とりまとめに向け、民間主体の活動や企画に合わせながら、 <u>東西軸・三日町口通り及びみゆき通りを含め、本格整備を見据えた形状での実験を予定</u> 。 ただし、銀座通りはアーケード問題が顕在化しており、その解決が必要。
○まちなか広場賑わい創出支援事業補助金 〈内容〉イベント誘致に取り組む団体に補助金を交付し、中心市街地の広場を活用したイベント開催を促進する。	FOODEVER実行委員会を通しイベントの誘致と広場の情報発信を委託。 マリカ広場・Dada広場・二ノ丸広場へ複数のイベントを誘致 計7件	①オンラインサイトを活用した情報発信の継続・拡充を図る。 ②イベント主催者の更なる呼び込みを図るため、 <u>エリア利用に関する相談と伴走支援を行う体制構築</u> を図る。

目標指標	基準値(R5)	参考値(R6) 現状値(R7)	推計値(R11)	目標値(R11)
新規出店・立地数	10店舗/年	(R6)10店舗/年 (R7)11店舗/年	10店舗/年 (累計50件)	11店舗/年 (累計55件)
自転車歩行者通行量	2,853人/日	(R6)2,331人/日 (R7)1,820人/日	2,863人/日	3,099人/日

重点テーマ2：市民の活動拠点に、鶴岡Dada、Dada広場等の改修、広場を活用したイベントの仕組づくり

中活計画主要事業

実施主体	新規継続	事業名 ■…ハード事業 ●…ソフト事業	事業概要	令和7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
市	継続	■鶴岡まちづくりブランディング事業	鶴岡Dada, Dada広場、エビスヤビル等の利便性・快適性向上のための改修	①Dada広場屋根張替 ②鶴岡Dada改修（雨漏り対策、スタジオ鏡の設置等） ③エビスヤビル雨漏り対策等	エビスヤビル仮設トイレ・水栓設置	Dadaエレベーター改修		

主な事業

新規継続	ハードソフト	名称・内容
新規	ハード	◆D a d a 広場改修工事費 〈内容〉イベント開催場所としてのD a d aの整備環境の改善のため、老朽化した屋根天幕張替え、柱塗装、照明設備改修を行う。
継続	ソフト	◆まちづくりセンター鶴岡D a d a 運営支援補助金 〈内容〉まちづくりセンターを拠点とし、中心市街地の賑わい創出のために行う、コワーキングスペースの運営やDada広場等を活用したイベント開催などの取組を支援する。
継続	ソフト	◆まちなか広場賑わい創出支援事業補助金【再掲】 〈内容〉イベント誘致に取り組む団体に補助金を交付し、中心市街地の広場を活用したイベント開催を促進する。



全天候型に対応したイベント広場として、装いを新たにした屋根天幕のもと中心市街地の賑わい創出を図る。

【Dada広場屋根改修の様子】

重点テーマ2：市民の活動拠点に、鶴岡Dada、Dada広場等の改修、広場を活用したイベントの仕組づくり

名称・内容	R7実績	R8予定
◆Dada広場改修工事費 〈内容〉 イベント開催場所としてのDadaの整備環境の改善のため、老朽化した屋根天幕張替え、柱塗装、照明設備改修を行う。	屋根天幕の張替え、柱・梁の錆止め・塗装、照明設備の更新が計画通り完了し、まちづくりセンターDadaのコンセプトカラーであるオレンジを基調とした、明るい雰囲気イベント広場となった。	Dadaを運営する銀座商店街振興組合はじめ民間事業者と協力しながら引き続き環境整備に努めるとともに、利用促進を図る。
◆まちづくりセンター鶴岡Dada運営支援補助金 〈内容〉 まちづくりセンターを拠点とし、中心市街地の賑わい創出のために行う、コワーキングスペースの運営やDada広場等を活用したイベント開催などの取組を支援する。	学習スペース等の運営と、スタジオ・研修室の貸館を行うほか、継続して3つのテナントが利用。 1階スペースは前年比1.2倍、学習スペースは微増だが、スタジオ・研修室は前年比8割、その他利用が半分以下のスペースもあった。	若者を中心とした市内外の多様な分野に取り組む人々が気軽に足を運び、 <u>まちづくりなどの様々な活動を実施・発信する場の運営、中心市街地のにぎわい創出や公民共創によるまちづくり人材の育成</u> に向けた取り組みを支援する。
◆まちなか広場賑わい創出支援事業補助金【再掲】 〈内容〉 10Pに記載のとおり	10Pに記載のとおり	10Pに記載のとおり

目標指標	基準値(R5)	参考値(R6) 現状値(R7)	推計値(R11)	目標値(R11)
【参考指標】 主要施設の来館者数	19,485人/年	(R6)21,690人/年 (R7)24,432人/年	18,416人/年	22,696人/年

重点テーマ3：中心市街地の周遊を促す仕掛けづくりに優先して取り組む

実施主体	新規 継続	事業名 ■…ハード事業 ●…ソフト事業	事業概要	令和7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
DEGAM/ 会議所	継続	●中心市街地観光 周遊促進事業	観光施設と飲食店舗等を 組み合わせたモデルコース の構築・展開	モデルコースの検討	①観光マップへの 反映 ②モデルコース追加 の検討			①観光マップの更新 ②モデルコースの 改善・追加
市/ DEGAM/ 会議所	継続	●インバウンド 観光促進事業	①インバウンド対応ガイド の養成 ②観光施設の多言語化支援 ※R6～補助金創設	①ガイドスキルアップ講座 の開催 ②支援制度の活用事例紹介 等による事業周知			ガイド入門 講座の開催 検討	
DEGAM/ 会議所	継続	●観光資源・ コンテンツ 磨き上げ事業	市街地内外の観光施設を 結び付けたコンテンツの 提案	①日本遺産等と中心市街 地を組み合わせた旅行商品 の企画 ②手ぬぐいスタンプ帳の 取扱拡大	旅行商品の販売			

新規 継続	ハード ソフト	名称・内容
継続	ソフト	○市街地周遊促進につながる市街地活性化事業補助金 〈内容〉鶴岡観光協会、鶴岡市観光ガイド協議会が行う市街地周遊の取り組みに支援する。
継続	ソフト	○日本遺産×まちなか周遊促進事業 〈内容〉日本遺産推進組織が行う3つの日本遺産とまちなか観光を結び付けたモデルコース提案、手ぬぐいスタンプ帳と連動した周遊企画を支援する。
継続	ソフト	○外国語ガイド育成研修 〈内容〉英語と中国語の外国語ガイド育成研修を実施する。 ○多言語化支援事業補助金 〈内容〉観光施設等が取り組む案内看板や表示の多言語化の取り組みを支援する。
継続	ソフト	○観光資源・コンテンツ磨き上げ事業 〈内容〉DEGAMが行う鶴岡商工会議所等と連携した市街地周遊モデルコース造成、中心市街地と市全域の観光地を結ぶ周遊促進ドライブマップツール作成を支援する。



庄内観光を楽しみながらスタンプを集めるとオリジナルの「手ぬぐいスタンプ帳」が完成。観光施設を巡ってもらうことでまちなかの周遊促進を図る。

重点テーマ3：中心市街地の周遊を促す仕掛けづくりに優先して取り組む

名称・内容	R7実績	R8予定
○市街地周遊促進につながる市街地活性化事業補助金 〈内容〉鶴岡観光協会、鶴岡市観光ガイド協議会が行う市街地周遊の取り組みに支援する。	○鶴岡市市街地観光活性化補助金の交付 ・鶴岡観光協会 ・鶴岡市観光ガイド協議会	○鶴岡市市街地観光活性化補助金の交付 ・鶴岡まちなか観光推進協議会 →鶴岡観光協会を改組し設立した組織 →食や食文化を核とした観光消費の促進等 ・鶴岡市観光ガイド協議会 →市街地エリアを専門にガイドを実施
○日本遺産×まちなか周遊促進事業 〈内容〉日本遺産推進組織が行う3つの日本遺産とまちなか観光を結び付けたモデルコース提案、手ぬぐいスタンプ帳と連動した周遊企画を支援する。	○3つの日本遺産をフックに周遊を促す「重ね捺しスタンプラリー」を実施。 スタンプ設置個所：・出羽三山 ・松ヶ岡 ・加茂 ・市街地（致道博物館） ○周遊ツール「手ぬぐいスタンプ帳」による市内観光周遊の促進 ○インスタリアル動画での日本遺産をテーマとした周遊モデルコースPR	○3つの日本遺産をフックに周遊を促す「重ね捺しスタンプラリー」を継続実施。 スタンプ設置個所：・出羽三山 ・松ヶ岡 ・加茂 ・市街地（致道博物館） ○周遊ツール「手ぬぐいスタンプ帳」による市内観光周遊の促進 ○R7に作成したインスタ動画を活かした周遊モデルコースの発信
○外国語ガイド育成研修 〈内容〉英語と中国語の外国語ガイド育成研修を実施する。 ○多言語化支援事業補助金 〈内容〉観光施設等が取り組む案内看板や表示の多言語化の取り組みを支援する。	○英語と中国語の研修を各3回実施。実際に外国人を案内する実地研修も行った。 ○多言語化支援事業として、「インバウンド受入環境向上補助金」にて民間事業者を支援した。交付実績1件、20万円。	本市へのインバウンド客来訪の増加に対応するため、継続して受け入れ環境の整備に関する支援を実施する。 ○外国語ガイドの研修を継続実施。レベルや回数を見直し、効果的な研修とする。 ○多言語化支援事業として、「インバウンド受入環境向上補助金」を継続して実施。1件あたり上限20万円の補助、予算額1,000千円の予定。
○観光資源・コンテンツ磨き上げ事業 〈内容〉DEGAMが行う鶴岡商工会議所等と連携した市街地周遊モデルコース造成、中心市街地と市全域の観光地を結ぶ周遊促進ドライブマップツール作成を支援する。	・「城下町周遊・鶴岡名物帳」企画を支援。 ・刀剣乱舞企画で、等身大パネルを市街地各所に設置。 ・街なか共通券会事業への協力 ・手ぬぐいスタンプ帳による市内観光周遊促進 ・HP・SNSを活用した多言語での情報発信	○DEGAMと観光施設等が連携した市街地周遊モデルコース造成、中心市街地と市全域の観光地を結ぶ周遊促進を図る。

目標指標	基準値(R5)	参考値(R6) 現状値(R7)	推計値(R11)	目標値(R11)
主要観光施設の入込客数	127,500人/年	(R6)132,675人/年 (R7)139,700人/年	127,500人/年	156,300人/年

ビジョンの
位置付け

【居住】

広い空の下で安心・快適に暮らすことができるまち

【まちづくりの方針】

まちなかに、良好な景観を維持し、災害に強く、多様なライフスタイルやライフステージに応じた「こどもまんなか」と脱炭素の居住環境を生み出します。

重点テーマ4：「若者・子育て世帯に選ばれる」住みたい場に
道路拡幅を伴う小規模な宅地開発への支援、新築等のインセンティブになる支援

中活計画主要事業

実施主体	新規継続	事業名 ■…ハード事業 ●…ソフト事業	事業概要	令和7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
NPO/ 市	継続	●小規模連鎖型 区画再編事業	狭あい道路拡幅を伴う宅 地開発への支援	民間事業者等が行う小規模連鎖型 区画再編に対する補助	→			
市	継続	●住宅リフォーム 支援事業	①まちなか居住につな がる買い手側へのインセ ンティブ支援 ②空き家活用を含め住宅 リフォームへの支援 ※R6～中心市街地加算創設	①住宅新築等への補助 ②減災対策、断熱化、バリアフ リー化等への補助	→			

令和7年度【主な事業】

新規継続	ハード ソフト	名称・内容
新規	ソフト	◆まちなか住環境整備応援補助金 〈内容〉まちなか居住につながる、道路拡幅を伴う小規模な宅地造成等に対して支援する。
継続	ソフト	◆新築支援事業補助金 〈内容〉つるおか住宅活性化ネットワークに登録した事業者が設計施工し、鶴岡産木材を一定量使用した住宅へ最大270万円支援する。
		◆住宅リフォーム支援事業補助金 〈内容〉中古住宅を取得し、リフォームを行う場合に最大300万円（工事費の30%を上限）支援する。
継続	ソフト	◆空き家利活用コーディネート推進事業補助金 〈内容〉小規模連鎖型区画再編事業等を行うNPO法人つるおかランド・バンクの活動を支援する。

**重点テーマ４：「若者・子育て世帯に選ばれる」住みたい場に
道路拡幅を伴う小規模な宅地開発への支援、新築等のインセンティブになる支援**

名称・内容	R7実績	R8予定
◆まちなか住環境整備応援補助金 〈内容〉まちなか居住につながる、道路拡幅を伴う小規模な宅地造成等に対して支援する。	申請件数：0件 補助金活用に関する相談はあったものの、補助対象要件に合わなかったり、建設費高騰による採算性悪化等の要因で申請に至らなかった。	R7年下半年期に実施した、民間事業者への聞き取りや意見交換会の内容を踏まえた制度改善を行い、補助金の活用を促す。
◆新築支援事業補助金 〈内容〉つるおか住宅活性化ネットワークに登録した事業者が設計施工し、鶴岡産木材を一定量使用した住宅へ最大270万円支援する。	補助金交付実績 ・一般枠 6件 1,200千円 ・移住・新婚・子育て世帯枠 8件 2,000千円 ・中心市街地枠 0件 0千円	つるおか住宅の新築工事を行うものへの支援 ○補助予定件数等 ・一般枠 7件 1,400千円 ・移住・新婚・子育て世帯枠 8件 2,000千円 ・中心市街地枠 2件 1,000千円
◆住宅リフォーム支援事業補助金 〈内容〉中古住宅を取得し、リフォームを行う場合に最大300万円（工事費の30％を上限）支援する。	補助金交付実績 ・一般世帯 153件 28,410千円 ・移住・新婚・子育て世帯 49件 14,561千円 ・特別枠（移住世帯かつ空き家活用） 4件 5,736千円 ・中心市街地特別枠 0件 0千円	住宅等のリフォーム工事を行うものへの支援 ○補助予定件数等 ・一般世帯 180件 32,760千円 ・移住・新婚・子育て世帯 49件 13,596千円 ・移住・空き家特別枠 5件 10,000千円 ・中心市街地特別枠 1件 3,000千円
◆空き家利活用コーディネート推進事業補助金 〈内容〉小規模連鎖型区画再編事業等を行うNPO法人つるおかランド・バンクの活動を支援する。	①小規模連鎖型区画再編事業 実績0件 H25から13件の実績はあるが、R7年度は候補地調査・検討をしたものの、事業化には至らなかった。 ②空き家バンク事業 R7年度当初は45件の登録があり、R8.2月までに新規登録が67件、成約が24件あった（中心市街地4件、外20件） ③空き家相談会 年3回 相談件数77件	①事業の原資となっているファンドの運用方法の検討などを行いながら、事業化につながるよう継続する。 ②引き続き、成約に向けて広く周知する。 ③空き家相談会 6月、8月、11月 引き続き、専門家等の知見を活用して空き家解消に取り組む。

目標指標	基準値(R5)	参考値(R6) 現状値(R7)	推計値(R11)	目標値(R11)
転入者数 （転居者含む）	345人/年	(R6)371人/年 (R7)362人/年	344人/年	365人/年
新築戸数	14戸/年	(R6)77戸/年 (R7)22戸/年	19戸/年	24戸/年

重点テーマ5：公共交通の利用促進活動や環境改善に優先して取り組む

中活計画主要事業

実施主体	新規継続	事業名 ■…ハード事業 ●…ソフト事業	事業概要	令和7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
市/交通事業者	新規	●モビリティ・マネジメント事業	①デジタル技術活用による利用実態の分析 ②バス乗り方教室の拡充	①アンケート調査の実施 ②ICカード利用データ等を基に利用実態の分析を実施 ③バスの乗り方教室の実施及び内容拡充の検討	①乗降調査結果及びICカード利用データ等を基に利用実態の分析を実施			
市/交通事業者	新規	■バス停留所高質化事業	「地域公共交通計画」に基づく既存バス停の改修	①バス停留所高質化を計画に位置付け	①計画に基づき順次更新を行う			

令和7年度予算額【主な事業】

新規継続	ハードソフト	名称・内容
継続	ソフト	◆地域公共交通計画更新事業補助金 〈内容〉鶴岡市地域公共交通活性化協議会が実施する、「鶴岡市地域公共交通計画」の更新について支援する。市民を対象にしたアンケートや中心市街地を含む各バス停の実態調査、乗降データの収集・分析を実施し、公共交通の課題把握や施策の検討を実施する。



令和4年10月の再編後に利用者が約5倍に増加した市内循環線。乗降データの分析や周知活動の継続などにより、利用者のさらなる拡大を図る。

重点テーマ5：公共交通の利用促進活動や環境改善に優先して取り組む

名称・内容 ■…ハード事業 ●…ソフト事業	R7実績	R8予定
●モビリティ・マネジメント事業 ①デジタル技術活用による利用実態の分析 ②バス乗り方教室の拡充	・地域公共交通計画の更新 ・バスの乗り方教室の実施 (庄内交通 R7.4～12月 13回) ・第11回小学生バスの絵コンテスト開催 応募総数：23校344点 作品展示：R7.8.22～8.29@エスモール ・「次期鶴岡市公共交通計画」策定に係る市民アンケート調査 利用促進のため実施してほしい取組として、「運行ルート・バス停の場所がわかる地図」「分かりやすい時刻表の提供」「バス停や携帯電話などで、バスが今どこを走っているかわかるようにする」との回答が多く、現在実施している取組の周知が必要。	・バスの乗り方教室の実施 ・第12回小学生バスの絵コンテスト開催 ・モビリティ・マネジメント事業の効果検証（LINEによる意識調査） ・バス事業者で提供しているバスロケーションシステムなど、利用可能なデジタルサービスの周知
■バス停留所高質化事業 「地域公共交通計画」に基づく既存バス停の改修	・市民アンケート調査の実施 ・鶴岡駅前バス乗り場の高質化に向けた準備	中心市街地のほか、羽黒山や加茂水族館等、主要観光地を結ぶバス路線にある 駅前 のりば①②のバス停留所について、柱・梁の塗装、屋根の更新、わかりやすいサイン表記により、バス利用者の待ち時間の利便性及び快適性を向上させ、観光の玄関口としてふさわしいバス停へと改修を行う。

目標指標	基準値(R5)	参考値(R6) 現状値(R7)	推計値(R11)	目標値(R11)
【参考指標】 主要なバス停の乗降者数	113,969人/年	(R6)112,447人/年 (R7)130,501人/年	113,969人/年	126,845人/年